

月ヶ瀬でいきる知恵とつながりを学ぶツアー

第4回

紅花染<sup>うばい</sup>と烏梅<sup>さちお</sup> - 吉岡幸雄<sup>よしひさ</sup>と中西喜久 -

2017年3月4日(土)

9:00 - 16:30

定員 15名 ※応募多数の場合は抽選

参加費 8,000円(体験料)+500円(昼食代)※モニター価格

場所 石打老人憩の家(保育所跡地)

主催 月ヶ瀬活性化協議会

## 月ヶ瀬でいきる知恵を学ぶツアー第4回

### 紅花染と烏梅 — 吉岡幸雄と中西喜久 —

奈良市東部の小さな旧村地帯「月ヶ瀬」で、長い年月をかけて育まれてきた自然と文化、伝統、農林産業に関わる「いきる知恵」を、現代の私たちの暮らしにつなげるツアー。

第4弾のテーマは、

失われつつある日本の伝統色の一つ、「紅」。

その鮮やかな色を出すために欠かせない媒染剤・烏梅（梅の実を煤でいぶし乾燥させたもの）が、現在も全国で唯一、月ヶ瀬で製造されています。

昔ながらの方法にこだわり紅花染を守り続ける二人の職人を招き、「紅」の世界の奥深さに迫ります。



吉岡 幸雄（よしおか さちお）

1946年、京都生まれ。  
1974年、早稲田大学第一文学部卒業後、美術図書館出版の紫紅社を設立。  
1988年、生家「染司よしおか」五代目当主を継ぎ、植物染による日本の伝統色の再現に取り組む。  
2010年 第58回菊池寛賞受賞（日本文学振興会主催）。  
主な著書に「日本の色辞典」「源氏物語の色辞典」（紫紅社）、「日本の色を染める」（岩波新書）、「千年の色 古き日本の美しさ」（PHP研究所）など。  
公式サイト [www.sachio-yoshioka.com](http://www.sachio-yoshioka.com)



中西 喜久（なかにし よしひさ）

1945年、奈良・月ヶ瀬生まれ。月ヶ瀬で代々烏梅づくりを営む中西家の9代目として、祖父・喜一郎氏、父・喜祥氏より烏梅づくりを幼いころから学び、養護学校の職員として勤務する傍ら、烏梅づくりを継承し、全国で唯一の製造者となる。  
2011年、父・喜祥氏に続き、国選定保存技術の保持者に認定。  
2016年、文化財の保存・修復への功績が認められ第10回読売あをによし賞奨励賞を受賞。  
毎年2～3月の観梅シーズン中、茶店「梅古庵（ばいごあん）」を開店し、製造した烏梅を展示している。

〔日時〕

2017年3月4日（土）※雨天決行

9:00-16:30（予定）

〔内容〕

座学：紅花染と烏梅について 講師：吉岡幸雄氏、中西喜久氏

体験1：ストールの紅花染

体験2：櫛の貼り絵はがきづくり

（東大寺お水取りで使用される紅花染和紙を使用）

※体験の作品はお持ち帰り

〔集合・解散場所〕

石打老人憩の家（保育所跡地）・駐車場有

住所：奈良市月ヶ瀬石打1171-1

※自家用車などでお越しください。

〔参加費〕

8,000円（体験料）+ 500円（昼食代）

※モニター価格です。

イベント終了後、アンケートにご協力ください。

イベントの様子は撮影し、月ヶ瀬活性化協議会の広報などで

使用させていただきます。

〔定員〕

15名程度

※原則大人の方を対象とします。小学生以上の同伴は可。

※応募多数の場合抽選。

〔応募方法〕

参加者全員の①お名前（ふりがな）、②住所、③年齢、

④メールアドレスまたはファックス番号、⑤当日連絡先、

⑥食物アレルギーの有無

をご記入の上、下記連絡先まで、件名に

「月ヶ瀬でいきる知恵を学ぶツアー 第4回 紅花染と烏梅」

とご記入の上お送りください。

〔応募締切〕

2月18日（土）まで



月ヶ瀬活性化協議会

メール：[tsukigase.nara.jp@gmail.com](mailto:tsukigase.nara.jp@gmail.com)

ファックス：0743 (92) 0320

フェイスブック：[www.facebook.com/tsukigase.nara.jp/](http://www.facebook.com/tsukigase.nara.jp/)